

### 防災意識

上原 麗奈

普段、皆様はどれだけの防災意識をもって過ごしておられますか？

私は阪神淡路大震災の被災者でした。兵庫県はその日の夕方頃から弱い地震があったのを覚えています。翌朝ゴーッという聞いたことのないような爆音とともに身体が上下に叩きつけられました。まだ眠りの中で訳がわからないまま、恐怖で身体を丸めることしかできませんでした。寝ぼけまなこのまま、四つん這いで光の射す玄関に這いずり、振り返るととんでもない光景が広がりました。寝ていた場所に天井が落ちていましたが、なぜか無傷でした。ぐしゃぐしゃな室内を目の前に、現状を理解できる余裕はなく、逃げなきゃ…そう思いました。私はホテルの二階に宿泊していましたが、二階は一階を潰し私たちは一階になっていました。それから3日間、寒い体育館で配給の毛布一枚だけの避難生活を経験しました。今でも揺れると真っ先に玄関を開けてしまいます。何人もの人が歪んでしまった玄関を開けることが出来ず、容赦なく襲う余震によって亡くなってしまったということを知っているからです。

話は変わりますが、先月、浦添市主催のイベントの一角に防災に関するコーナーがあり簡易コップやスリッパ、簡易トイレ、古着と棒二本を使っての担架造り等を娘と一緒に教えていただきました。

あれから22年。東日本大震災、熊本地震なども発生し、私自身も人生であんなに大きな体験をしているのにも関わらず…防災意識がだいぶ薄れてしまっていることを突きつけられてしまいました。高価と思われる防災グッズですが、今や百円均一（ダイソー）等で防災グッズを身近に揃えられるそうです。明日は我が身。娘ともっと話し合っ普通段からの意識づけを大事にしていかなければと実感した日になりました。



### 住まいの簡易診断

松川 清伯

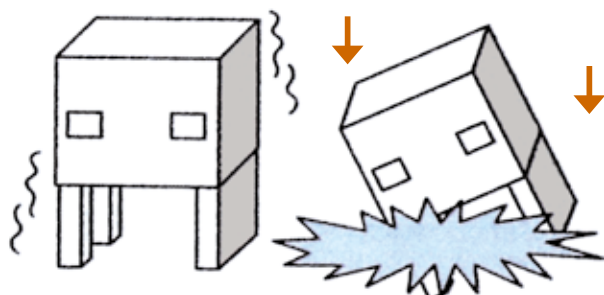
旧耐震基準（昭和56年5月以前）に着工された住宅で、国の補助のもと、所有者は（税込）10,800円の費用で簡易診断が実施できます。建築士である簡易診断技術者が建物の形状や、劣化状況を目視調査し、外形からわかる情報で建物のおおよその耐震性を診断、所有者へその結果を説明し報告書を提出します。簡易診断の結果「耐震性にやや疑問あり」「危険性がある」と評価された場合は精密な耐震診断による耐震補強工事または建替え・除却等、今後の方針について検討が必要になってきます。安心・

安全な住まいのために簡易診断を受けることをお勧めします。

募集条件は、戸建住宅、長屋、共同住宅で、構造は鉄筋コンクリート造、補強コンクリートブロック造、又は、鉄骨造であること。規模は3階建て、床面積300㎡以下です。

簡易診断の申し込みは：

NPO法人沖縄県建築設計サポートセンター  
(TEL：098-879-1020)



ピロティになっている住宅の地震被害



建築構造の専門家

沖縄でよくみられるピロティ階ですが、一概に危険とはいえません。ピロティ階は、専門的な定義がありますので、心配されている階がピロティ階であるのかどうか、専門家に正しく判断してもらいましょう。



発行所／(有)桜設計工房  
所在地／那覇市港町2-7-7  
みなと277 4F  
電話／098 (867) 5987  
FAX／098 (863) 7690  
E-mail:info@sakura39.biz  
http://www.sakura39.biz  
発行人／喜名英之

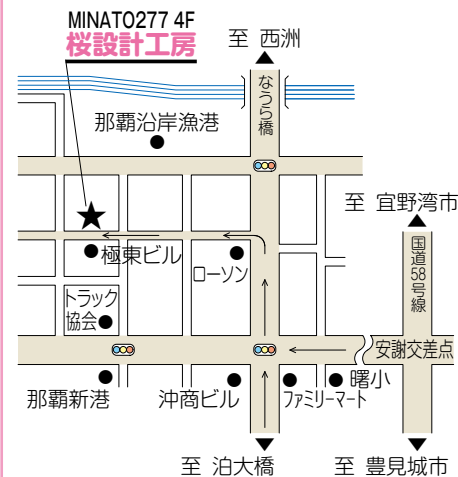
営業所／西原町小波津233-16  
電話／098 (946) 5066  
FAX／098 (863) 7690

創業／昭和61年7月1日

#### 営業種目

- \* 建築企画設計・監理業務
- \* 特殊建築物等調査・検査報告
- \* 耐力度調査
- \* 耐震診断・改修設計監理業務
- \* 補償コンサルタント業務

企業理念＝私達は、誇り、使命感を持って顧客の信頼を第一とします。その上で人と自然が共存し、豊かな地球環境を創造して社会の発展に貢献します。さらに建築設計を通して感動、満足、安心を与え、明日への夢と希望を提供します。



### 今後の住宅事情について

(有)桜設計工房  
代表取締役社長 喜名英之

今回から社内報・さくら通信の巻頭言を担当することになりました。これからも建築業界の動きや法改正など分かりやすい情報を提供していきたいと思います。

最初は沖縄の戸建住宅について述べます。ご存知のように沖縄の住宅は鉄筋コンクリート造（RC造）が多いです。本土では9割が木造住宅のようですから、真逆の比率と言えます。

戦後の駐留アメリカ軍が台風とシロアリ被害を受け、それに対応するRC造の建築を推進したことや、その後、琉球政府などがRC造に融資の支援をしたこと等が要因と思われます。

RC造の特徴は、まず重い（比重が高い）ことです。開口部がしっかりしていれば、台風の風雨でも気密性や水密性が高く、比較的静かで安心感があります。

屋根、壁がコンクリートと一体なので強風で屋根材や壁材が吹き飛ばされることはありません。また、シロアリ被害にも強いでしょう。逆に重量に耐えうる地盤が必要です。

鉄骨造や木造では不要でもRC造では地盤改良や杭打ちが必要になる場合もあります。熱を溜めやすく、夏場の昼間に熱を蓄えて夜になっても室内の温度が下がりにくかったり、建築費用が他の工法に比べて高くなりがちなど欠点となる部分もあります。それでも新築を希望される方の多くはRC造を望まれるようです。

先月、知り合いの設計事務所と施工会社など10社に聞き取り調査を行いました。その中で特に細かい設定をせずに、RC造の住宅1軒の坪単価をどのくらいで設定するか、という問いかけをしたところ、各社様々でしたが最低は70万円（条件付き）から最高は110万円までと回答、平均すると坪単価は85万円という結果でした。5年前に住宅相談の際に坪55万円から65万円と答えていたので約25%ていど単価が上がったことになります。確かに数年前から職人不足が問題になり、公共工事も増加して金利も下がりました。建築需要が増え職人が不足すると、当然のごとく建築単価は上がります。一時は設計完了したものの見積り依頼をする業者探しに苦労したこともありました。

これからは設計の初期段階から数度見積りを取るなどして予算内に収まるよう、建物のデザインを調和させながら計画を実行するように心がけて参りたいと思います。

住宅建築にあたり金利が低く単価も安いにこしたことはないが、タイミングも人それぞれなので土地取得から資金計画まで早い段階で家族の合意、準備などに余裕をもって設計に着手されるようおすすめします。





# 自転車日記 vol.6

崎原 利克

「美ら島めんそーれコース：50km」に家族4人で参加して来ました。

恩納村から読谷の残波岬をぐるっと回って来るコースで天気も良く最高のサイクリング日和、初参加の妻も張り切って出発しました。息子は前回参加した時より体力も付き、上り坂もグングン進んでいました、時期に追いつけなくなるのかと、これも親の喜びですね。10km毎に設けられている休憩所では色々なデザー

トが準備されていてつつい食べて過ぎていました。折返し地点付近で昼食、残波ロイヤルホテルでの昼食を美味しく頂きました。ここからは海岸線を走るので景色がきれいで気持ち良かったです。

子供が大きくなったからなのか50kmという距離が物足りなく感じたので次回は160kmに挑戦したいねと話しました。余談ですが一番きつかったのは帰りの駐車場に向かう手前の坂道でした…。



# 「西崎親水公園」見参!

島 正道

今回は、糸満市西崎に位置する「西崎親水公園」を紹介します!滝と小川があり水遊びができるエリアと、大きな池を中心にローラーすべり台等の遊具があるエリアがあります。滑り台やネットジャングル、ブランコ、シーソーなどの遊具も

充実しており、トイレ、自販機、水のみ場、東屋、駐車場なども完備しています。春にはピクニック、夏には子供に水遊びさせるのに絶好の場所です。地図を見てみると分かると思いますが、道で分断されているが海岸まで続く長い公園です。



すべり台の降り口は意外と高いです! ターザンロープもあります! 池の上を滑りぬくローラーすべり台! 夏には小川が流れて水遊びができます!

# 改めて考えると「沖縄空手」は可能性をとても秘めている…!?

野原 智子

実家に近い豊見城城址公園内に「沖縄空手会館」がオープンしました。その関係のテレビ番組を見て改めて気づかされた事ですが、沖縄は空手の『発祥の地』なんです。国内ではなく世界中に大勢いる空手家の「聖地」で、これは画策して得られるものではない特別な事実を持っていると言えるのです…。

話はかなり飛びますが、少林寺のような位置づけに豊見城城址公園が成長したら面白いと思う。沖縄の確かな魅力として確立でき、世界に発信する総本部となる事ができれば、色々な面で新たな経済効果を生み出すこともできるだろう。

最近(前から?)は空手を習う子供も多いようで、身近で空手を習っていると聞くことも多い気がします。極端な事を言えば、琉球王朝時代のように空手が日常生活に浸透したら、とても面白い変化が沖縄に起こるかも…。よい方向への変化を勝手に期待、想像してしまう今日この頃です。



# 「臨海道路浦添線・浦添北道路」 伊禮奈津子



■メイクマン浦添本店駐車場より海岸側、橋梁が見えます。

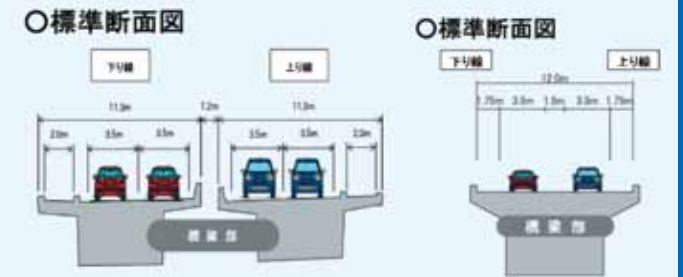
事務所の窓からは西海岸、西洲方面が見えます。その先には、「臨海道路」が宜野湾方面へと繋がっているのだろうと、工事進捗状況が気になり西洲入口を覗いてみることにしました。

基地のフェンス沿いの道路工事状況は予想より遅れているように見えました。



しかし、橋梁は着々と繋がってきています。

この臨海道路は、南は糸満市、北は読谷村と「沖縄西海岸道路」としての区間の一部です。那覇⇄浦添⇄宜野湾と繋がっていくラインは渋滞緩和に、空港・港湾⇄大型商業施設⇄コンベンションセンターと新たなスポットになるでしょう。旧商業施設への影響や観光客増加への対応策など、これからどうなるの?なんて不安もありますが開通を楽しみに窓を眺める日々です。



■臨海道路浦添線(4車線) ■浦添北道路(2車線)

# 「咲いた」 大城 哲男

私事であるが、昨年7月「さざんか」、「びわ」そして「さくら」の木を植えた。敷地のわずかな空スペースに、家内が選択し専門職人に頼んで植えてもらった。職人が言うには、花をつけるのは、「さざんか」1年、「びわ」3~5年、そして「さくら」は10年先とのこと。

確かに「さざんか」は成木であるが、「びわ、さくら」は幼木である。この地に馴染み成長するには時間を要するとの説明。将来の「わが家、子供たちの成長」になぞらえ、あえて選択した木でもあるので納得している。

この地にしっかり根付き、成木になるのを気長に待つ覚悟を決め、10年後この木に花が咲き、実をつけることを楽しみにすることにした。(但し、手入れは家内の役目と勝手に決めている)

その後、思いがけないことが起きた。木を植えて4か月後の11月のことであるが、玄関近くに植

えた「さざんか」に花が咲いたのである。ツバキに似た花が、小ぶりであるが木の枝を埋めるほどに…。隣人にも声をかけてもらえる程の咲き映えである。そして、1月「びわ」の木に小さいながらも花が咲き実がついた。2月には「さくら」にも花が…。この土地に、「木」と「わが家族」が受入れ、歓迎されたのだという気持ちにさせてもらった。

我が「桜設計工房」においても昨年度は順調な年であった。設計業務を適時に受注させて頂き、無事完了し納品することができた。実りの多い、成長を感じさせてもらえる年であった。今後も職員一丸となり努力を重ね、会社の成長をと願っている。そして、気持ちを新たに新年度を迎える喜びを感じる春である。

